

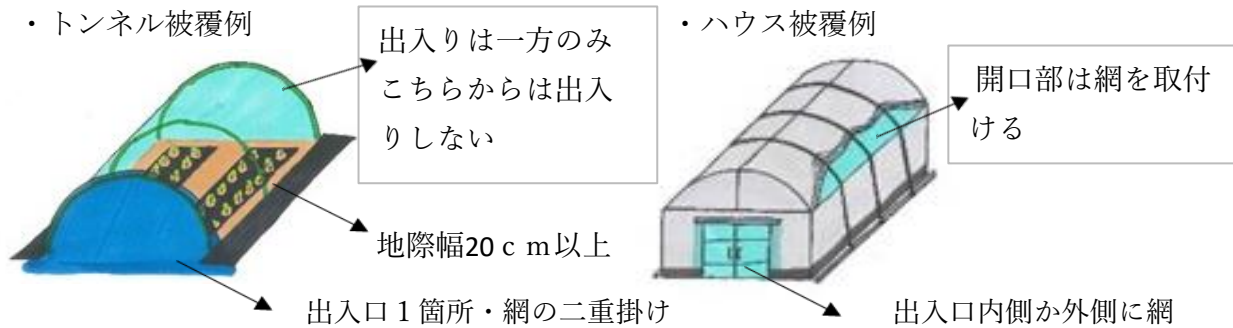
～ セグロウリミバエを含む園芸作物害虫対策に関する防除指針（インゲン）～

被覆材防除(防虫網、ビニールシート被覆)

① トンネル栽培の場合：網目2mm以下を使用し、侵入しないように展張する。

また、網の両裾20cm以上地際の余裕幅を設け、出入り口は1トンネル1箇所とし、二重網にし侵入を防止する。

② ハウス栽培の場合：ビニールシートの換気開閉時に侵入しないよう2mm目以下の網を下張り、出入口扉の内か外に網を取付け二重にする。



※出入りをする際は、二重掛けのネットまたは扉が同時に開いた状態にしない。（出入りをする間に侵入されないため）

薬散防除(農薬散布例:インゲンの場合)

【慣行栽培：トンネル1畝掛け栽培】

①：播種後45～50日目（開花時）グレーシア乳剤

②：収穫1週間後 プレバソフフロアブル5 ③：②散布2週間後 モスピラン顆粒水和剤

④：③散布後7～10日後 モスピラン顆粒水和剤

その後7～10日後にプレバソフフロアブル5かモスピラン顆粒水和剤を可能回数散布(各3回まで)

【慣行栽培：トンネル2畝掛け・ハウス栽培】

①：開花時 グレーシア乳剤 ②：収穫1週間前 プレバソフフロアブル5

※ハウス栽培等で2, 3番花まで収穫する際はその都度散布を行なう。

※農薬の使用回数を超えないよう、農薬ラベル標記を確認しながら散布を実施してください。

【有機栽培】

産業課にお問い合わせください。

収穫時後防除(収穫・選別・出荷)

① 収穫品は害虫が寄生しないよう、網やシートで覆うか袋に入れる。



サンテナをシート掛けまたは網掛けする

② 選別箱詰め作業は、覆いや袋から手元作業分だけ取り出し選別し製品を覆って置く。農協選果場へ持ち込む車上でも網・シート等で覆う。

選別作業場も、出入口・開口部に網を取り付け侵入防止を行なう



栽培終了後防除(残さの処理)

残さに寄生させないよう、完全に乾燥か腐熟するまでビニールシート等で侵入しないよう覆う。

セグロウリミバエに登録のある薬剤

【サヤインゲン】 エルサン乳剤、スタークル顆粒水溶剤、プレバソフフロアブル5、ベネビアOD、モスピラン顆粒水和剤、コルト顆粒水和剤、マラソン紛剤3、スピノエース顆粒水和剤

【ニガウリ】 プレバソフフロアブル5、モスピラン顆粒水和剤、アクタラ顆粒水溶剤、コルト顆粒水和剤、スタークル顆粒水溶剤、ダントツ水溶剤、マラソン乳剤